

BMXは自転車の格闘技
世界に熱烈なファンが存在

小学3年生にして、体重40kgと
がっちりした体型が目玉の古
田歩己くん。写真撮影で照れる子
どもらしきを見せませんが、BMX
ライダーとして日本代表にも選ば
れる期待のジュニアです。

2008年北京オリンピックか
らは正式種目に採用され、注目度
も上がりました。毎年行われる
UCI(世界自転車競技連合)世
界選手権大会、その登竜門となる
全日本自転車競技選手権などのレ
ースは5歳から参加できます。ジ
ュニアライダーが各地のコースで
レースに挑んでいます。

一般的にレースはスタートヒル
と言われるスタート台から始まり、
コースの距離は300〜400m。
ジャンプ、バームと呼ばれるカー
ブを駆け抜け、数分でレースが決
まります。

特に1コーナーを立ち上がると、
その後は抜きどころが少ないため、
最初の1コーナーへの進入が勝負
の分かれ目。ライダー同士、肘が
ぶつかり合うことは日常茶飯事で
「自転車の格闘技」と呼ばれてい
ます。

誕生日プレゼントの BMX自転車が転機に

2歳からベダルのない二輪車ス
トライダーに乗り始めた歩己くん。
3歳の誕生日プレゼントに欲しが
ったのがBMX自転車でした。

その後、年中から毎週日曜は三
重県の練習場「GONZOパーク」
で練習に明け暮れました。初レー
スは2018年、岡山で行われた
J2レースです。5〜8歳の男女
が参戦する混合レースで6歳にし
て見事に3位入賞を果たしました。
一方でプレッシャーに弱く、レ
ース前は「お腹が痛い」と言い出
すことも。歩己くんが勝つ喜びを
実感した最も思い出のあるレー
スが、岡山J2の数カ月後に開か
れた「UCI大阪BMX国際(5
〜6歳)」です。ずっと勝てなかつ
た関東在住のライバル選手に勝
利して、優勝を果たしました。2
019年にはこれらの結果が認め
られ日本代表に。数千人のギャラ
リーが見守るベルギーでの世界戦
を走りました。

コロナ禍で多くのレースが中止
となり、昨年の「全日本自転車競
技選手権BMXレース(7〜8
歳)」は1戦のみの一発勝負。疲
労骨折で一年ほど練習できずにい
た歩己くんは、レース2週間前に
医師から許可が下りエントリーし
ました。ほぼ未経験のコースと、
離れてしまったレース感覚。「何
とか予選だけでも通過できれば」

巻頭特集

豊明から
駆けまわれ!

全日本自転車競技選手権BMX男子
7〜8歳の部優勝

ふる

た

い

ぶ

き

BMX RIDER

古田歩己くん

1960年代後半、

アメリカの子どもが当時人気競技だった

モトクロスをまねて遊んだことが発祥といわれる

バイシクルモトクロス(以下、BMX)。

BMXレースには国内外に多くのファンがいます。

豊明小学校3年生の古田歩己くんは

世界戦経験もあるライダー。

21年シーズン開幕前に取材しました。

“IBUKI FURUTA” History 2012-2021

2012年2月27日生まれ。
4歳 GONZO parkで練習を開始
6歳 初めてビッグレースにエン
トリー。「UCI」で初優勝しました
7歳 世界選手権公式練習後のハン
バーガー。あどけなさをのぞか
せます 8歳 コース練習はいつも
お父さんと一緒。さらなる技術向
上を目指します



Results

- 主な戦績
- 2018年
全日本BMX選手権大会(5〜6歳)2位
UCI 大阪BMX国際(5〜6歳)優勝
 - 2019年
国内シリーズ戦ポイントランキング1位、
UCI BMX
WORLD CHAMPION SHIPS 出場(ベルギー)
 - 2020年
全日本自転車競技選手権BMXレース
(7〜8歳)優勝

と周囲が思っていたなか、見事に
優勝。7〜8歳クラスの日本一と
なり、実力と才能を見せつけまし
た。

登校前には室内マシンで自転車
を漕ぎ、時間を見つけてはストレ
ッチするなどストイックな歩己く
ん。地味な反復練習を苦にせず負
けず嫌いな性格で、幼少から続け
ているサッカーで鍛えた脚力も武
器です。

コロナの影響がなければ今春か
ら21年シーズンが開幕。「出るレ
ースは全部勝ちたい!」と力強く
宣言してくれた歩己くん。豊明市
が誇る注目のBMXライダーです。

もっとレースの腕を磨き
21年シーズン全勝が目標です!



古田家の子育て聞いてみました!



左から古田清さん、歩己くん、裕子さん

父はメカニックとして 体づくりは母が支援

10代の頃、BMXを趣味で始め
た父親の清さん。本格的なレース
参戦経験こそありませんが、大人
になっても常に自転車を側に置
いてきたBMX好きです。レース
前は歩己くんの自転車のメンテ
ナンスを担当。コースに合わせた
ギア調整のほか、オーバーホール
の必要があれば豊明市内の「マル
コサイクル」に自転車を持ち込む
のも仕事です。平日は仕事に打ち
込み、週末は全力で歩己くんをサ
ポートします。

一方で「自転車のことは詳しく
ないですが」と話す裕子さん。メ
ンタルを強くする本を読み、レー
ス前にはポジティブな言葉掛け
に努めながら食事面をサポート
します。歩己くんは2年前から
山梨県北杜市にあるスクール「Y
BP」に週に一度通っています。

レースへの遠征は 家族旅行の意味合いも

「何か打ち込めるものが見つか
ればいいと思っていましたが、こ
こまでBMXに対して本気にな
るとは思っていませんでした。納
得するまでサポートし続けたい
です!、広島県から新潟県など、
出掛ける遠征は家族にとっても
楽しいものになっています」と夫
婦は声を揃えます。

シーズンが始まれば週末はほ
ぼ遠征となりますが、それも「家
族旅行」と捉え楽しみなながらサポ
ート。遠征先では歩己くんが清さ
んがレース場に残り、歴史スポッ
ト巡りが好きな長男は裕子さん
と別行動を取ることも。長男にも
配慮してしっかり楽しめるブラ
ンを立て、家族全員で歩己くんの
レース活動をサポートしていま
す。